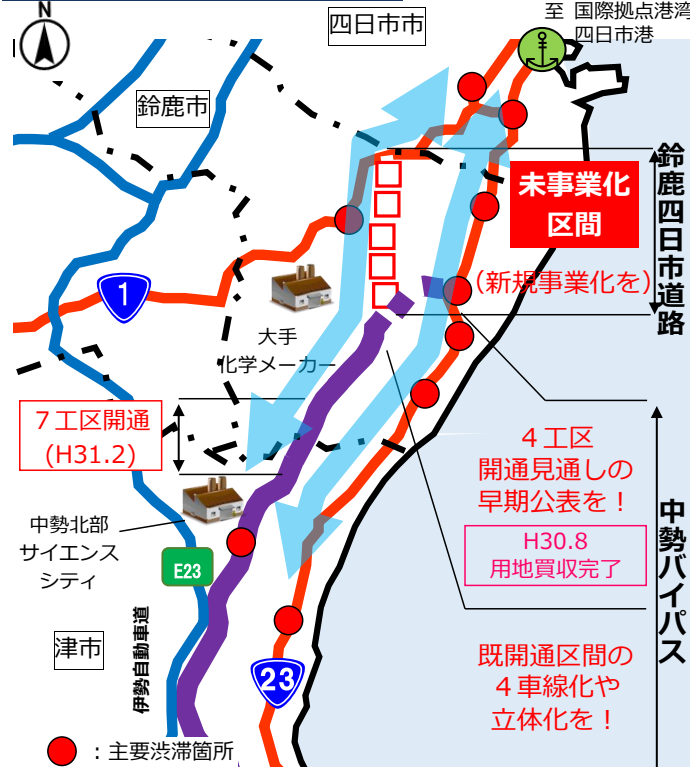


三重県国道協会提言書 ―安全な県土の構築と地域成長力を支える道路ネットワーク強化―

— 物流の円滑化 —



— ネットワークの強化 —



海抜ゼロメートル地帯、強振動予測地域を迂回し、大規模災害時の救援救助にも寄与する東海環状

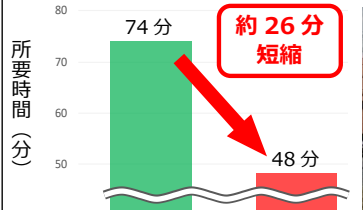
## 事例 物流の円滑化

～鈴鹿四日市道路の整備前後の比較～

【大手化学メーカーA社（鈴鹿市）】

### ■搬出時間の变化 (事業場⇒四日市港)

■国道 23 号の渋滞状況  
(鈴鹿市内)

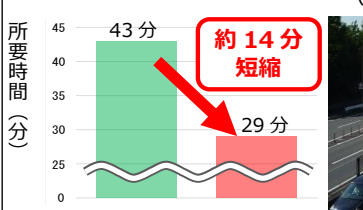


※H27 道路交通センサスを基に三重県算出（非混雑時を想定）

【サイエンスシティ立地企業S社（津市）】

■搬出時間の变化  
(営業所⇒四日市市内)

■国道 23 号の渋滞状況  
(四日市市内)



※H27 道路交通センサス、  
民間プローブデータ(H27 年 10 月平日)を基に算出

## — 交流人口の拡大 —

## ○セントレア発の旅行プランが東紀州地域に拡大！

バスで移動  
中部国際空港  
(セントレア)

紀勢線の延伸により

アクセス  
時間短縮


定時性  
向上

滞在時間  
の増加

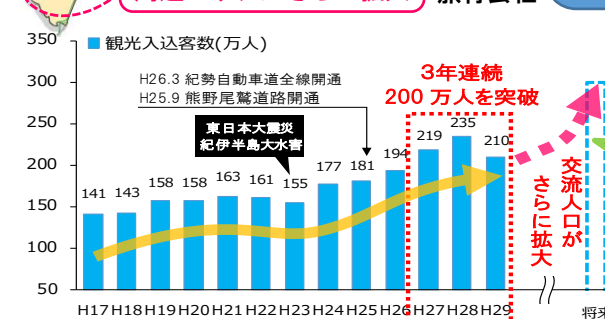
新たな周遊プラン  
伊勢志摩地域  
東紀州地域

**熊野古道の世界遺産登録  
15周年に合わせ、  
東紀州・伊勢志摩を周遊  
する訪日客向けプランを  
商品化しました。**

地元大手  
旅行会社

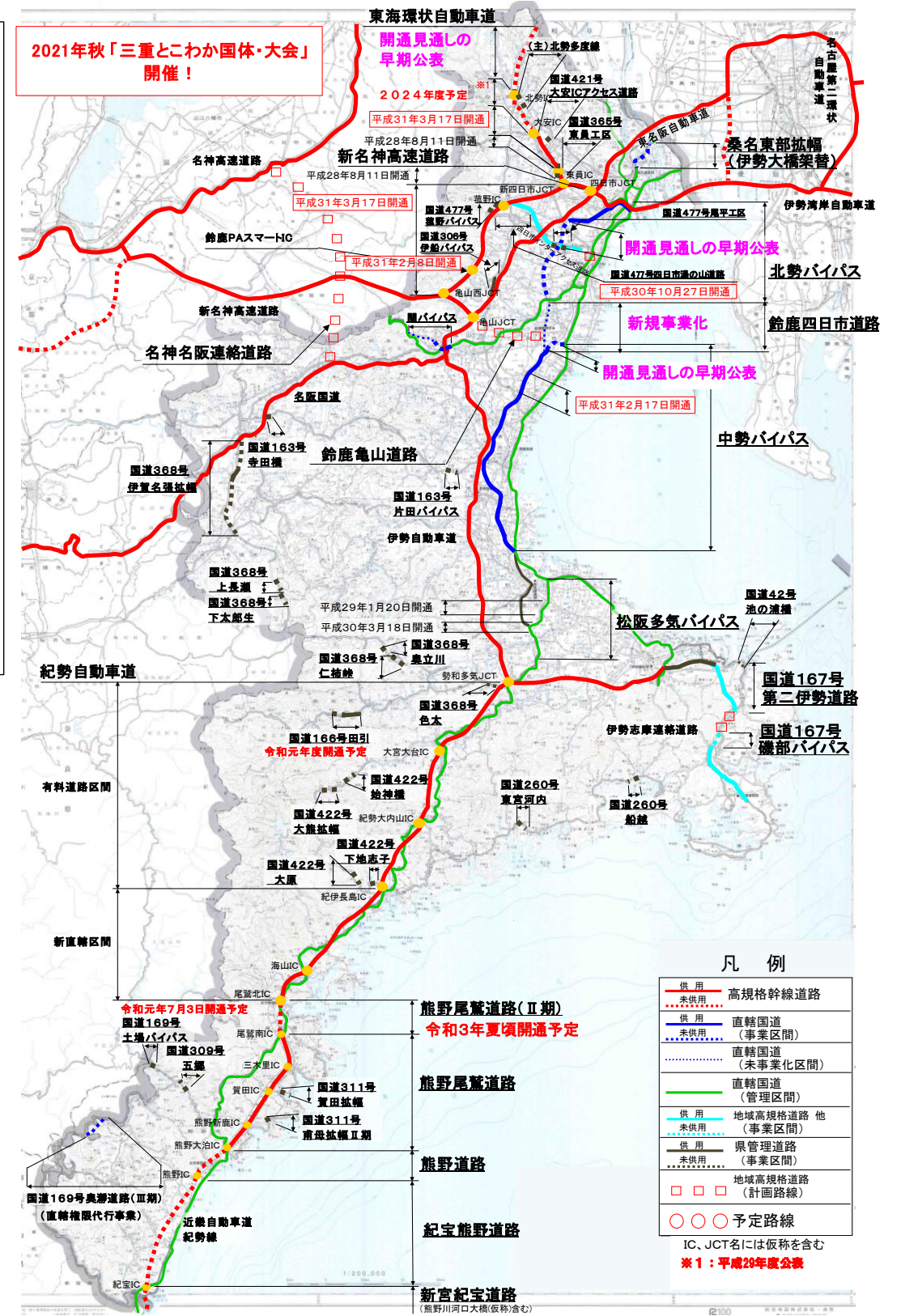


紀勢線の整備が進むと  
周遊エリアがさらに拡大



令和元(2019)年は  
熊野古道  
世界遺産登録  
15周年

高速道路の延伸にともない年々観光入込客数が増加



提  
言

- 1 伊勢湾沿岸の直轄国道の整備推進（北勢バイパスの全線開通に向けた整備促進及び国道477号BPまでの開通見通しの早期公表、鈴鹿四日市道路の早期新規事業化、中勢バイパスの4工区の開通見通しの早期公表、既開通区間の渋滞解消に向けた4車線化や立体化）をすること。
- 2 東海環状自動車道北勢ⅠC（仮）～大安ⅠC間の公表された開通見通しより一日も早い開通、岐阜県境～北勢ⅠC（仮）の開通見通しの公表、早期全線開通に向けて整備を推進すること。
- 3 中京圏の高速道路ネットワークを賢く使うとともに、必要なネットワーク整備のスピードアップに向けた財源確保のため、早期に中京圏の道路料金の見直しを進めること。
- 4 令和3年開催「三重とこわか国体・とこわか大会」に向け、熊野尾鷲道路(Ⅱ期)・熊野道路・新宮紀宝道路・

- 紀宝熊野道路の整備を推進すること。
- 5 供用中の紀勢自動車道（有料道路区間）における暫定2車線区間の4車線化を進めること。
- 6 国道1号桑名東部拡幅（伊勢大橋架替）の整備を推進すること。
- 7 国道42号松阪多気バイパスの渋滞区間の立体交差化整備を促進すること。
- 8 鈴鹿亀山道路の都市計画手決定続きに関する調査を支援すること。
- 9 名神名阪連絡道路の国による調査を推進し、早期実現すること。
- 10 国道25号名阪国道は、安全対策を着実に進めること。
- 11 鈴鹿亀山道路及び名神名阪連絡道路を「重要物流道路」として指定すること。